

宇波交流センターだより

ささえ愛まめに楽しく集う里うなみ



令和2年10月20日発行〈編集・発行〉宇波交流センター
〒692-0622 安来市広瀬町宇波482-2 Tel(兼fax):0854-36-0852
Mail:unami.cs@city.yasugi.shimane.jp

号

9月末宇波地区人口統計 (安来市人口統計より)	人口	戸数	10歳代以下	20～30歳代	40～50歳代	60～70歳代	80歳代以上
	216名	93戸	13名	25名	45名	84名	49名

詩歌同好会(10/1)

8月に亡くなられた詩歌同好会会長の細田美沙男さんを偲び、会員のみなさんが集まれ会が開かれました。細田さんに宛てた詩や、普段の生活での詩など持ち寄り、久しぶりのみなさんの再会に有意義な会になったようでした。

今年度の文化祭は中止になりましたが、詩歌同好会さんの作品は交流センター玄関に展示していますのでご覧ください。



細田美沙男さんを偲び、平成30年に交流センターだよりに投稿していただいた作品を再度ご紹介します。

短歌
朱寿を迎えて

身にあまる祝辞い ただき朱寿祝う
頂き物を友に福分け

戦中に育ちし七人兄弟
一人遣りて朱寿を祝う

朱寿まで長らえし事真まことかや
エールを送る弟 声す

肩を組み七人兄弟歎 た日
想い 出っつ 朱寿を祝う

代表の 方より厚き言葉聞き
孫も並びて深くお辞儀す

又一人昔を語る友の 遊き
寂しき紛らす平昌五輪は

細田美沙男

みなさん ご存じですか？

「山の細道」

宇波詩歌同好会は昭和四十四年に、宇波で文芸をこよなく愛する方々が集まり結成されました。昭和四十六年から四十年間、毎年「山の細道」という手作りの文芸集を発刊され、広瀬町内の図書館や各方面の施設などに寄贈されたそうです。

表紙、編集、挿絵、製本・・・すべてが会員さんの手作りで、一冊一冊が温かみのあるとても貴重な本となっています。

交流センターにも保管してありますので、ご覧になりたい方は交流センターにお問い合わせください。



文化祭は中止になったけど・・・

宇波の言葉の文化を継承していくために、出雲弁はもとより、宇波ならではの話し方を調べています。

先日、談話室の本棚から「おなんの話ことば」という資料を見つけました。「おなん」って何のこと???と、読み進めていくうちに、「おなん」→「うなみ」ということに気づき、昔祖父母が使っていた言葉や普段使っている言葉など書いてあり、思わず一人で笑いながら読んでしまいました。

この資料は、いつ、だれが作られたのかわかりません。今では使われなくなった言葉や言い回しもたくさん書いてあります。「おなんの言葉」を継承していくために、なるべく多くの方に見ていただき、訂正や追加をし仕上げていきたいと思っています。交流センターに掲示していきますのでどうぞ、ご指導、ご指摘をお願いします。



安来市島田地区の青戸昇様から
手作りの足踏み式アルコール消
毒台を寄贈していただきました。
ありがとうございます。



ご厚志を
頂戴致しました

加藤学様(滝下の下)
故加藤和衛様

永島均様(宮下)
故永島民子様

榎野毅様(宮下)
故榎野照代様

高柴弘樹様(滝奥)
故高柴初美様

ありがとうございます
ございました

ドクター中西 元気クリニック

在宅医療、内科、循環器内科、小児科、泌尿器科

車がないと交通の便が悪いですが、
往診もしますので気軽に電話ください。

11月の開院日

13日(金)午後のみ(午前休診)、
14日(土)、15日(日)は午前午後
16日(月)午前のみ(午後休診)
27日(金)午後のみ(午前休診)、
28日(土)、29日(日)は午前午後、
30日(月)は午前のみ(午後休診)

診察時間

午前8時～12時
午後4時～6時

飛行機便の都合で、休診がありま
すので、ご注意下さい。

Dr.中西敏雄

広瀬町布部758

TEL: 36-0009

インフルエンザワクチン

10月15日から来年1月までインフルエンザワクチンをうっています。コロナもあるので、インフルエンザの予防をしっかりやってください。

特定健診

市から通知が来ている方は健康診断を受けて下さい。比較的すいている午後がお勧めです。

コロナウイルス

あいかわらず、コロナの注意が必要です。マスクをして3密を控えることで予防できます。人の集まりではマスクをしてください。マスクをしていても他人との長時間の会話や、大人数での飲み会は控えてください。人のいる所への外出から帰ったらうがいと手洗いをしてください。

